

マネジメント工学コースの学習・教育目標

マネジメント工学コースは、どの系列・学科に所属する学生でも選択することができる、各学科に共通のコースである。3・4年次に、本コース固有の科目が設定されている。

育てる人材の目標 工学の実用価値を実現しながら社会をリードする人材

工学を身に付けた人材は、社会に出て以下に例示する様々な業務を担うことになる。

- ・ 新しい技術を生み出す研究や開発の仕事
- ・ 生み出した技術を実用化するための設計や生産の仕事
- ・ 新しい技術を活かす新しい会社の起業
- ・ 技術を活かす会社の経営、など

本コースでは、しっかりとした「工学の専門学力」と、会社やプロジェクトなどを企画し立ち上げる力、それらを管理・運営していく力など「マネジメント力」を併せ持ち、それらの仕事を通して社会に貢献していく人材を育成する。

身につける力の目標 「工学の専門学力」と「マネジメント力」の双方の力

本コースでは、3年次には、工学の専門学力とマネジメント力の双方を身につける学習を行う。また4年次にはマネジメント工学プロジェクトの履修により、それらを融合し活用する力を養う。

工学の専門学力 技術者として貢献していくための基本的能力

- ・ 新たな技術を生み出す研究や開発を担う能力
- ・ 開発した技術を実用化するための設計や生産を担う能力

マネジメント力 技術を活かし社会をリードしていくための応用力

- ・ 組織の立ち上げ・運営など、組織をマネジメントする能力
- ・ 問題提起とその解決など、主体的な改革能力
- ・ ディスカッション、プレゼンテーション能力

学習プロセスの特徴 能動的な参画型学習プロセス

本コースでは、能動的な参画型プロセスにより学習を進める。授業には、ディスカッション、自らの課題設定、企画・提案、問題提起、課題解決、プレゼンテーションなどのプロセスをふんだんに取り入れ、積極適に活動していく力を育てる。これにより、与えられた課題をこなすだけの技術者ではなく、自ら考え、課題を見出し、進む道を提案し、課題を解決し、実行していく人材を育成する。